

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-1	2-1-3	事業名	都心再生協働事業
担当	市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 佐々木 211-2692			
全体計画				
事業内容	これまでの事業展開の結果、規制緩和に伴う民間主体の公共空間活用の進展や、公共施設整備、民間開発などをきっかけとして、都心内各地区において地域の管理を地域が主体的に行う取組(エリアマネジメント)が動き始めている。 この動きをいっそう進めるため、今後も市民や事業者と協働で、エリア単位で確実かつ成果のあるまちづくりを積極的に展開していく。 具体的には、新中心市街地活性化基本計画の策定を通じ、民間主体のまちづくりの促進に向けた制度研究を進める。 さらに、具体的な施策展開を図るため、駅前地区や大通地区、すすきの地区、創成以東地区など都心各地の特性にあわせたエリアマネジメント方策について、事業者や関係者とともに検討を進め、その中で民間主体のまちづくり会社の設立について支援する。		<年度別の事業内容>	
			<p>[平成19年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進事業 ・新中心市街地活性化基本計画策定事業 <p>[平成20年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進事業 ・新中心市街地活性化基本計画策定事業 <p>[平成21年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進事業 ・新中心市街地活性化基本計画進捗調査、フォローアップ事業 <p>[平成22年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大通、駅前通地区まちづくり計画策定支援業務 ・創成以東地区エリアマネジメント促進事業 ・新中心市街地活性化基本計画進捗調査、フォローアップ事業 	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>エリアマネジメント促進事業については、各地区の協議会等に参加し、その運営を支援するほか、まちづくりの方向性や、その活動の主体となる「まちづくり会社」の設立に向けた基礎的な調査・検討を行った。また、多くの関係者にまちづくりへの参画意識を持ってもらうため、大通地区のフォーラム開催を支援した。 さらに、民間主体の公共空間活用の取組を支援し、市民に広く周知を行うとともに、次年度以降の民間主体の自立的な運営につなげるための方策を検討した。 大通地区エリアマネジメント促進支援業務 すすきの地区エリアマネジメント促進支援業務 すすきの地区公共空間活用支援業務 創成川東秋まつり負担金</p> <p>新中心市街地活性化基本計画策定事業については、現計画の評価・反省や、市民アンケート調査等による中心市街地の利用実態・将来的な期待等の把握、人口・商業指標・歩行者通行量等の基礎調査による中心市街地の概況の整理・分析等を実施した。 新中心市街地活性化基本計画策定に係る基礎調査等業務</p>		<p>エリアマネジメント促進事業については、昨年に引き続き、市民や事業者とともに各地区の協議会等に積極的に参加し、その企画・運営を支援した。 主に、大通、駅前通地区では、まちづくり会社の設立に向けた詳細の検討と地区内での合意形成の支援を行い、すすきの・創成以東地区では、活性化の方法や地区関係者のまちづくりへの意識喚起、参画拡充の手法を検討し、その取組を支援した。 各地区のエリアマネジメント促進支援業務</p> <p>新中心市街地活性化基本計画策定事業については、基本方針、中心市街地の区域、活性化目標・数値目標等の検討を行い基本計画の素案を取りまとめた。 また、駅前通地区、大通地区、すすきの地区の地域関係者、商工会議所、札幌市により構成された中心市街地活性化推進会議を立ち上げ、計画概要や3地区連携の方向性の検討、各地区の現在の取組の状況の確認を行うなど民間との意識共有を図った。 新中心市街地活性化基本計画策定業務</p>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>エリアマネジメントの促進については、昨年度に引き続き、市民や事業者とともに各地区の協議会等に積極的に参加し、まちづくり会社設立に向けた検討や地区内での合意形成支援等を行い、さらに、地域活性化やにぎわい創出手法の検討、地区内のオープンスペースの活用方策の検討などを行った。 大通地区 ・札幌大通まちづくり株式会社設立(H21.9設立)、運営支援 駅前通地区 ・駅前通地区まちづくり会社設立検討支援 ・地区のにぎわい創出手法検討 すすきの地区 ・地区の活性化方策やまちづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討 創成川以東地区 ・(仮称)狸二条広場の活用に向けた検討</p> <p>新中心市街地活性化基本計画策定事業については、計画の成案化に向け国と協議を行ったが、国の支援措置の見直し等を受け、その動向を見極めていくこととした。 また、中心市街地活性化推進会議の枠組みを活かして、各地区や商工会議所と連携した都心まちづくりの取組検討や、現状・課題などの情報交換等を行う「札幌都心まちづくり推進会議」の立ち上げの検討を行った。</p>		<p>エリアマネジメントを促進し、地域が主体となった活動を将来に渡って継続させていくため、まちづくり会社の運営支援を行うほか、活動主体が確立されていない地域については自主財源確保方策の検討や合意形成等の組織設立支援を行う。 さらに、地域のにぎわい創出手法やオープンスペースの活用方策についても検討を継続する。 大通地区 ・まちづくり会社の運営支援 ・四番街まちづくり計画策定の支援 駅前通地区 ・まちづくり会社の設立及び運営支援 ・空間活用等によるにぎわい創出活動の検討 すすきの地区 ・エリアマネジメント促進方策及び組織体制の検討 ・すすきのエリアマネジメント戦略研究会の企画・運営 創成川以東地区 ・エリアマネジメント促進方策の検討 ・(仮称)狸二条広場の活用方法及び組織体制の検討</p>	
事業内容	<p>規 模 ・ 件 数 等</p>			

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-1	2-1-3		事業名	都心再生協働事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	検討	素案策定	認定調整	認定調整	策定 (20年度)	
大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	-	-	-	-	検討	検討	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 地区内の商店街、大型店、商工会議所、市がともに出資し、札幌大通まちづくり株式会社を設立した。 [人材協力] 各地区の協議会等に参加し、地元事業者と共に議論を行うほか、まちづくり活動への支援を行い、協働によるまちづくりを実践した。 [情報協力] 他都市の情報の提供、都心内の他地区の情報の提供を行い、進捗度を伝えることで、モチベーションの向上を図った。 [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>大通地区では、平成21年9月に「札幌大通まちづくり株式会社」が設立され、民間主体のまちづくり活動を担う組織的基盤が確立した。今後、会社の安定運営に向けた支援を行うことで、継続的かつ発展的な活動が見込まれる。</p> <p>駅前通地区では、平成23年春に完成予定の地下歩行空間の活用をはじめとする地域のまちづくり活動を担う「まちづくり会社」の設立を目指し、地元地権者等による議論・検討が継続的に行われている。</p> <p>すすきの地区では、地域関係者等と継続的なまちづくり活動を担う組織体制や、将来の公共的空間活用のあり方について検討するなど積極的に活動を展開している。</p> <p>創成川以東地区では、平成23年春に完成予定の(仮称)狸・二条広場の活用や担い手等について他地域と連携して検討するなど、公共空間を活用した地域活性化策の実現に向けた議論が本格化している。</p> <p>新中心市街地活性化基本計画の策定に向けた検討を通じ、様々な調査、分析を行ったことで、都心の詳細な現状分析、市民ニーズの把握、旧基本計画の検証等ができた。さらに、その成果を地区関係者等へ情報提供したことで、関係者の現状認識を深め、地区のまちづくり意識の醸成につながったほか、現在策定中の都心まちづくり戦略等他の事業にも活かされている。</p>			<p>民間主体のまちづくりを進めるうえでは、担い手の不足と、事業を行うための継続的な財源不足の2点が最大の課題である。</p> <p>近年都心部において駅前通地下歩行空間や創成川親水緑地空間、市民交流複合施設等の新たな都市基盤が生まれつつあることから、これらの資源をより効果的に活かした地域によるまちづくりの検討も課題となっている。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>駅前通地区、大通地区においては、まちづくり会社が設立され、それぞれ初動期、確立期を迎えることから、会社の安定運営に向けた支援をはじめ、地域の将来ビジョンの検討など、地域の合意形成と地域価値の向上に向けた新たな動きの支援を積極的に行う。</p> <p>すすきの地区では、新たなまちづくり活動や空間活用のあり方、それを担う組織の検討に向けて地元とともにより具体的な検討を進め、創成川以東地区では、平成23年に公共広場が整備される予定であることから、引き続き地域関係者と空間の活用方策や担い手等の確立に向けた検討を進める。</p> <p>平成22年4月に立ち上げた「都心まちづくり推進会議」において、都心各地区の関係者による情報交換や、都心全体のまちづくりについての議論などを行うことで、多様な主体が参加する総合的なまちづくりの推進を図る。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-1	2-1-3	事業名	都心再生協働事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	17,958	29,942	14,800	11,300	74,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	1,600	1,400	0	0	3,000	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	16,358	28,542	14,800	11,300	71,000		
予算	事業費	17,958	19,964	17,779	4,000	59,701	
	財源内訳						
	国・道支出金	1,600	1,400	0	0	3,000	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	16,358	18,564	17,779	4,000	56,701		
実績	事業費	17,086	16,654	16,686	-	50,426	
	財源内訳						
	国・道支出金	1,600	1,400	0		3,000	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	15,486	15,254	16,686		47,426		
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)				73.5%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 当初の計画で計上していたまちづくり会社出資金10,000千円を、予算計上していないため。							
[21年度] 当初、別事業であった中心市街地活性化基本計画策定事業を本事業へと繰り入れたこと及び札幌大通まちづくり株式会社が設立されたことによる出資金を計上したため。							
[22年度] 駅前通地区のエリアマネジメント促進については、まちづくり会社設立の目処が立ってからの予算措置となったため。							